提案書「みんなで創るバリアフリーの街づくり」の見直しの方向性について

資料４－１

１　前回会議でいただいたご意見等

第14回県民会議にて提案書の見直しについて次のような意見をいただいた。

（１）バリアフリー、ユニバーサルデザインの原点を考えながら見直しを進める。

（２）今までの取り組みの振り返り（検証）を行う必要がある。

（３）共生社会にユニバーサルデザインは当たり前であるという視点を含める。

（４）バリアは必ず生じるので、取り除いていく取組みは継続する必要がある。

（５）必要なものが必要な人へ届くようになど、県の施策についても提案に含めたい。

２　現在の提案に係るアンケートの結果について

今までの取組みを検証する必要があるとの意見を踏まえ、取組みテーマごとの達成度合い・課題等について、県民会議委員へアンケートを行った。

いただいた意見をもとに、現時点での課題案を次のとおりまとめた。

３　課題案（資料４－２参照）

（１）現在の取組みテーマについて

ア　バリアフリー教育の充実

（ア）（バリアフリー教育＋人権教育）の更なる強化・推進

（イ）「心のバリアフリー」の推進

イ　多様な人が住まう「街」への気づき、障害者理解の推進

（ア）理解促進のための取り組み強化

ウ　安心して出かけられる「街」の実現を目指して

（ア）交通機関及び関連施設のバリアフリー強化（ハード＋ソフト面）

（イ）障がい種別に応じた情報提供の強化･推進

エ　条例適合率・遵守率向上に向けた取組み

（ア）条令適合条件の見直し

（イ）適合･遵守への関心強化

オ　施設の計画段階における関係者の参画

（ア）適切な工程（事業プロセス）参画

（２）新たなテーマ

ア　心のバリアフリー推進

（３）その他意見・課題

ア　県民意見収集方法

イ　新たな提案にあたってバリアフリーとユニバーサルデザインの位置づけ

ウ　県職員のバリアフリーに対する意識向上

エ　他自治体等の取組みの事例収集

３　見直しの進め方について（案）

（１）見直しについては基本的に前回の会議にて設置を承認いただいた調整部会にて議論を進める。

（２）調整部会においては県民会議で挙げられた意見及び今回のアンケート結果を踏まえて、課題に対する提案等の議論を行う。

４　提案書の見直しについてのスケジュール（案）

詳細については調整部会で調整する。

平成30年４月～５月　　　調整部会①（意見収集方法・まとめ方について）

　平成30年６月～　　　　　意見収集・整理

　平成30年８月　　　　　　調整部会②（意見整理・たたき台作成）

　平成30年10月　　　　　　県民会議①（たたき台提示）

　平成31年１月　　　　　　調整部会③（たたき台修正・提案書まとめ）

　平成31年３月　　　　　　県民会議②（提案書提示）